

# 【巻末資料】

現地実証試験の実施/秋季モニタリング結果/嘉陽海域

# ○モニタリング結果(生育調査)

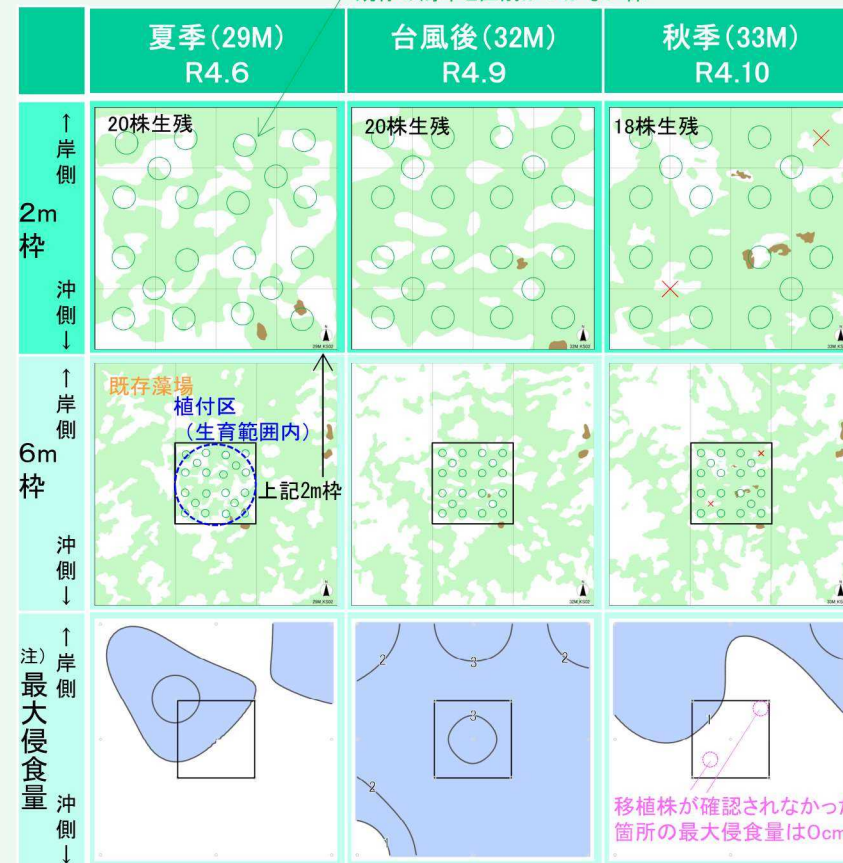
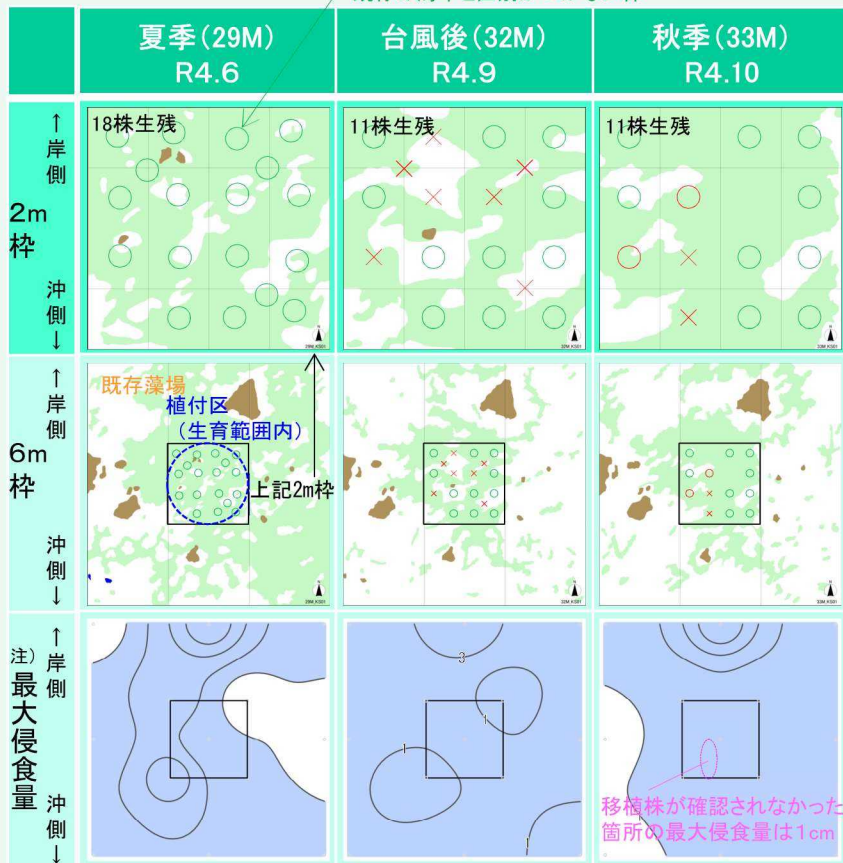
## <KS01> (水深D.L.-1.2m)

- ・秋季(33M)の目視による生残株数は、11株であった。
- ・秋季(33M)の2m枠内の最大侵食量は1cm、移植株が確認されなかった箇所も1cmであった。



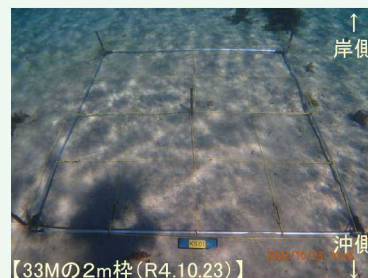
## <KS02> (水深D.L.-1.2m)

- ・秋季(33M)の目視による生残株数は、18株であった。
- ・秋季(33M)の2m枠内の最大侵食量は0cm、移植株が確認されなかった箇所も0cmであった。



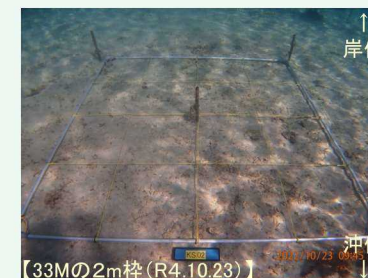
注)最大侵食量: 前回調査時からの侵食量

【凡例】



注)最大侵食量: 前回調査時からの侵食量

【凡例】



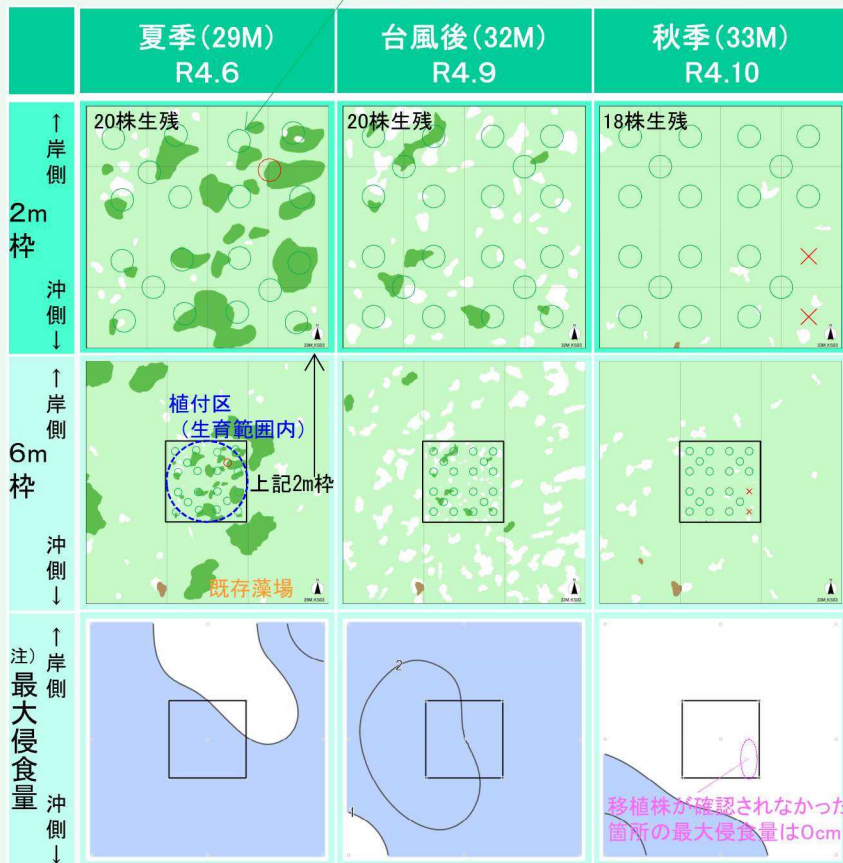
# ○モニタリング結果(生育調査)

## <KS03> (水深D.L.-1.0m)

- ・秋季(33M)の目視による生残株数は、18株であった。
- ・秋季(33M)の2m枠内の最大侵食量は0cm、移植株が確認されなかった箇所も0cmであった。

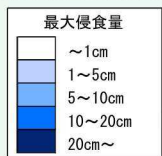
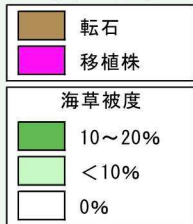


既存の海草と区別がつかない株



注)最大侵食量: 前回調査時からの侵食量

【凡例】



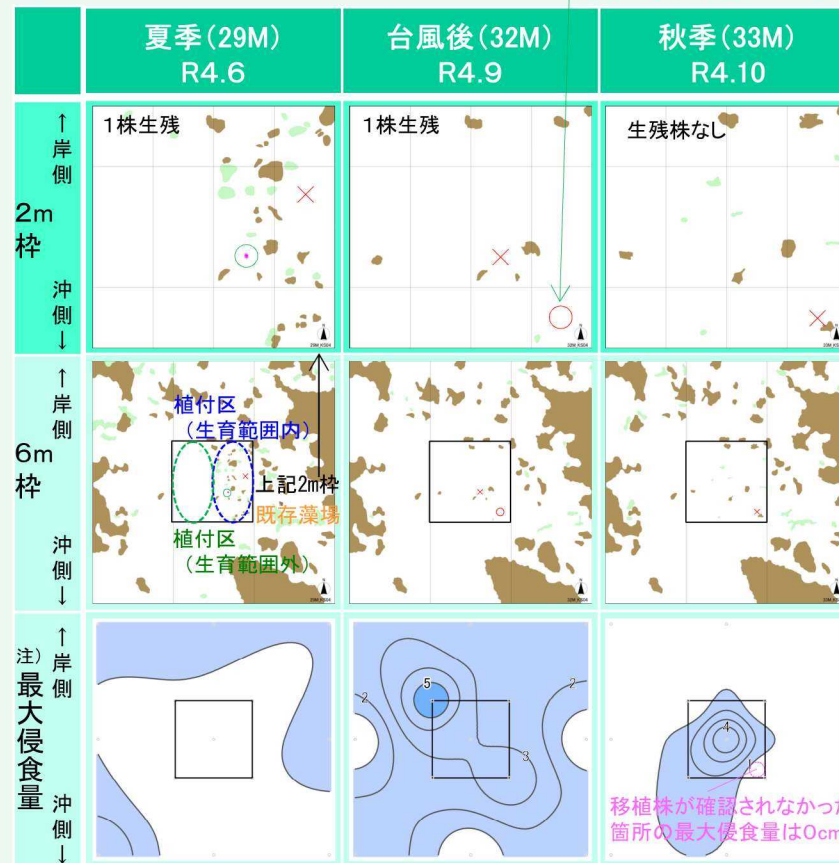
- : 継続的に確認された移植株
- : 再確認された移植株
- ×: 確認されなかった移植株



## <KS04> (水深D.L.-1.3m)

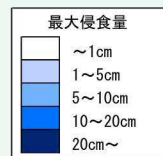
- ・秋季(33M)の目視による生残株数は、0株であった。
- ・秋季(33M)の2m枠内の最大侵食量は0~4cm、移植株が確認されなかった箇所は0cmであった。

既存の海草と区別がつかない株

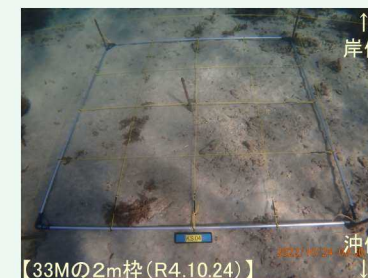


注)最大侵食量: 前回調査時からの侵食量

【凡例】



- : 継続的に確認された移植株
- : 再確認された移植株
- ×: 確認されなかった移植株



# ○モニタリング結果(生育調査)

## <KS05> (水深D.L.-1.1m)

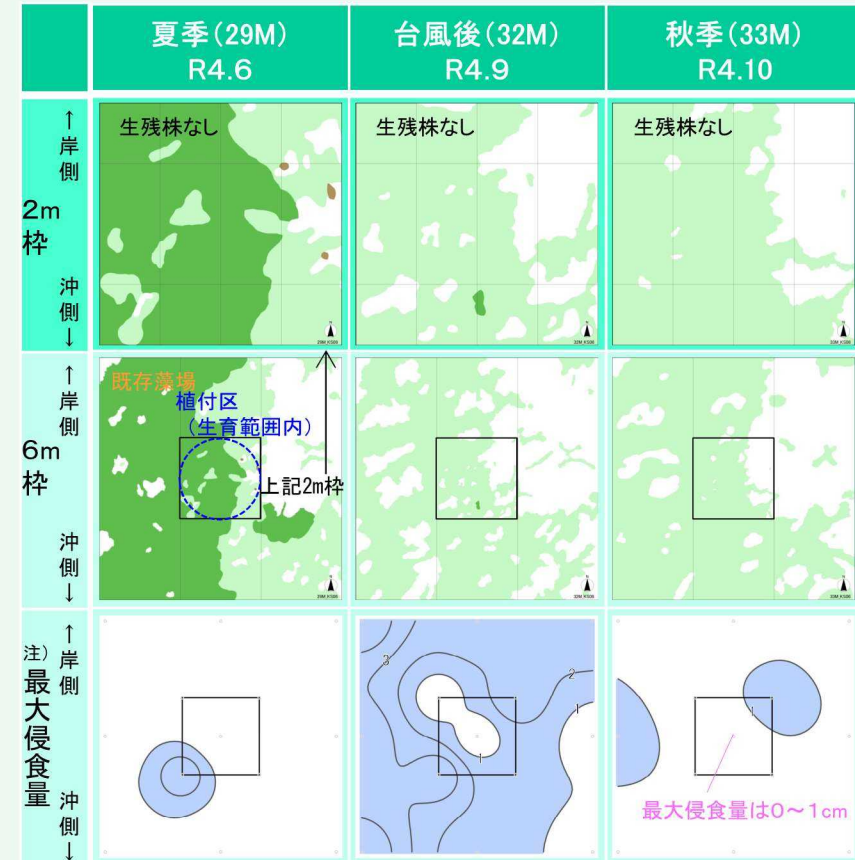
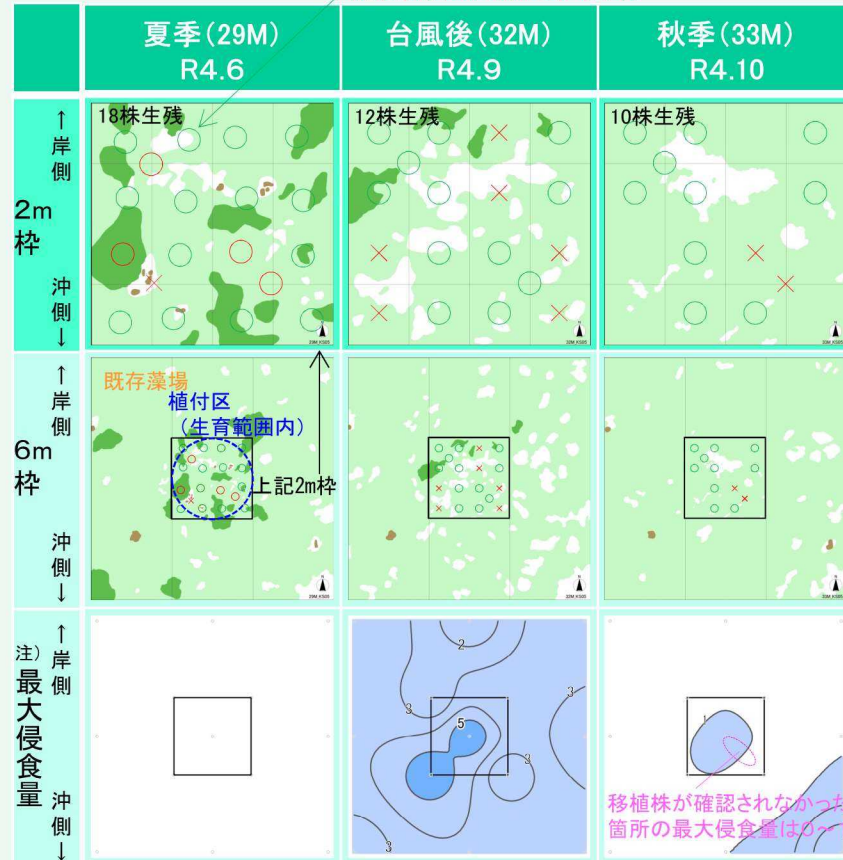
- ・秋季(33M)の目視による生残株数は、10株であった。
- ・秋季(33M)の2m枠内の最大侵食量は0~1cm、移植株が確認されなかった箇所も0~1cmであった。



## <KS06> (水深D.L.-1.0m)

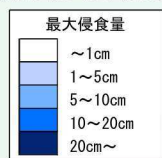
- ・秋季(33M)の目視による生残株数は、0株であった。
- ・秋季(33M)の2m枠内の最大侵食量は0~1cmであった。

既存の海草と区別がつかない株



注)最大侵食量: 前回調査時からの侵食量

【凡例】



- : 継続的に確認された移植株
- : 再確認された移植株
- ×: 確認されなかった移植株



注)最大侵食量: 前回調査時からの侵食量

【凡例】



- : 継続的に確認された移植株
- : 再確認された移植株
- ×: 確認されなかった移植株



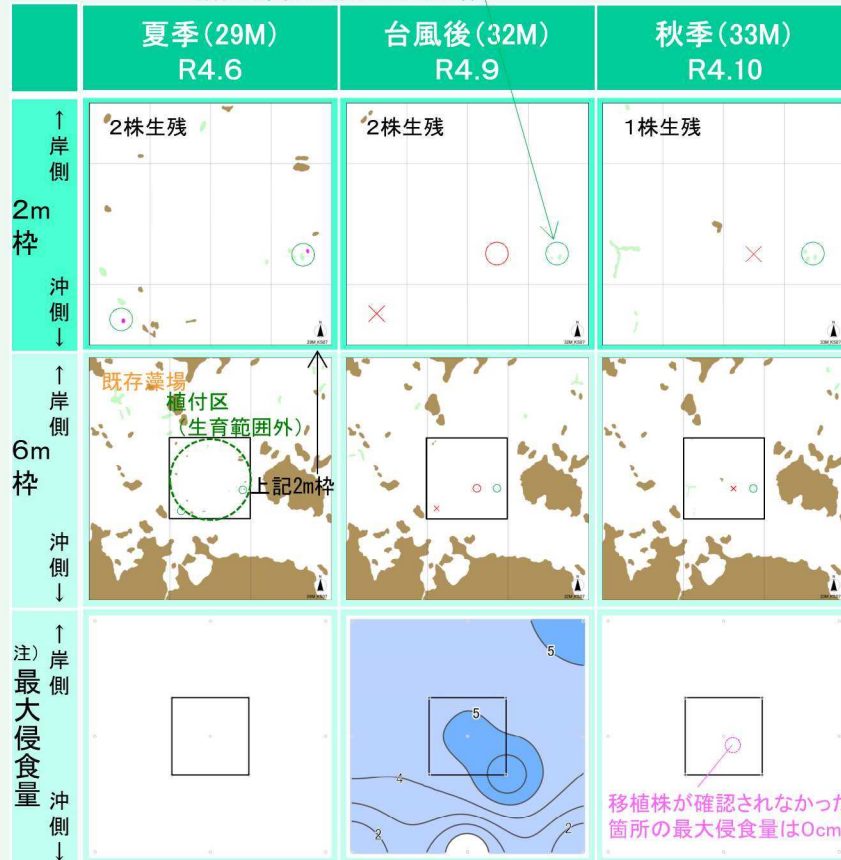
# ○モニタリング結果(生育調査)

## <KS07> (水深D.L.-1.3m)

- ・秋季(33M)の目視による生残株数は、1株であった。
- ・秋季(33M)の2m枠内の最大侵食量は0cm、移植株が確認されなかった箇所も0cmであった。

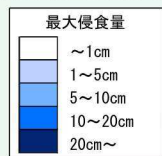


既存の海藻と区別がつかない株

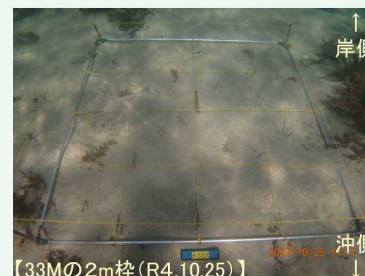


注) 最大侵食量: 前回調査時からの侵食量

【凡例】

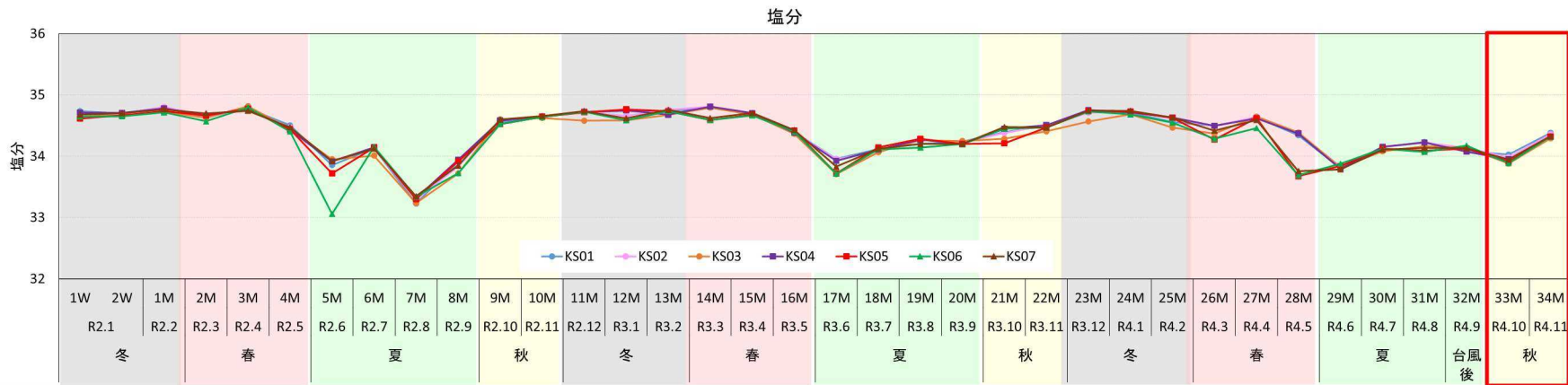


- : 継続的に確認された移植株
- : 再確認された移植株
- ×: 確認されなかった移植株



## モニタリング結果（水温・塩分）

・秋季(33、34か月後)モニタリングの各地点の水温は25.1～27.5℃、塩分は33.9～34.4であった。

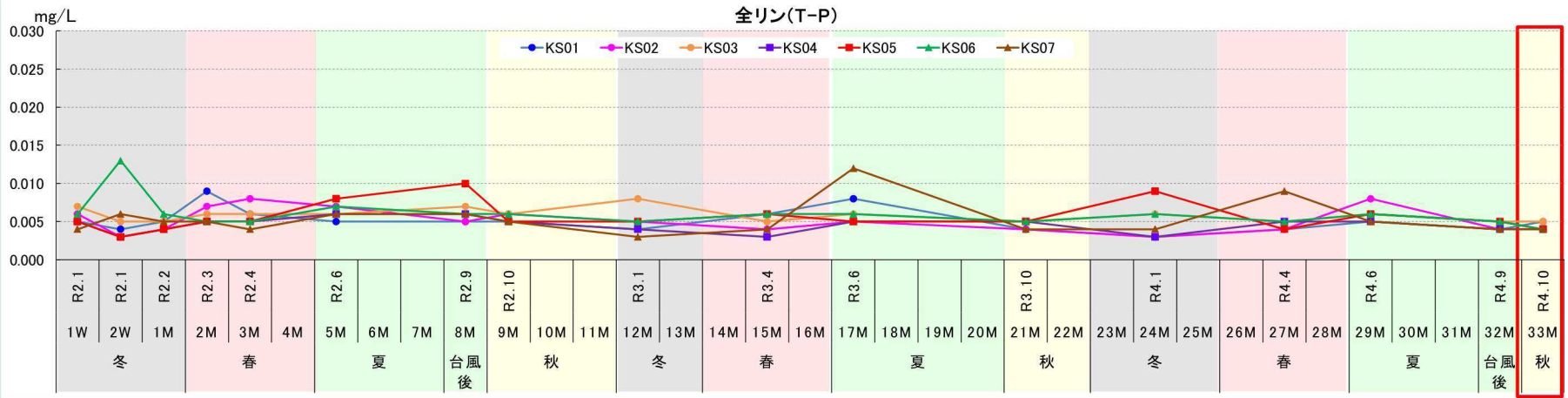
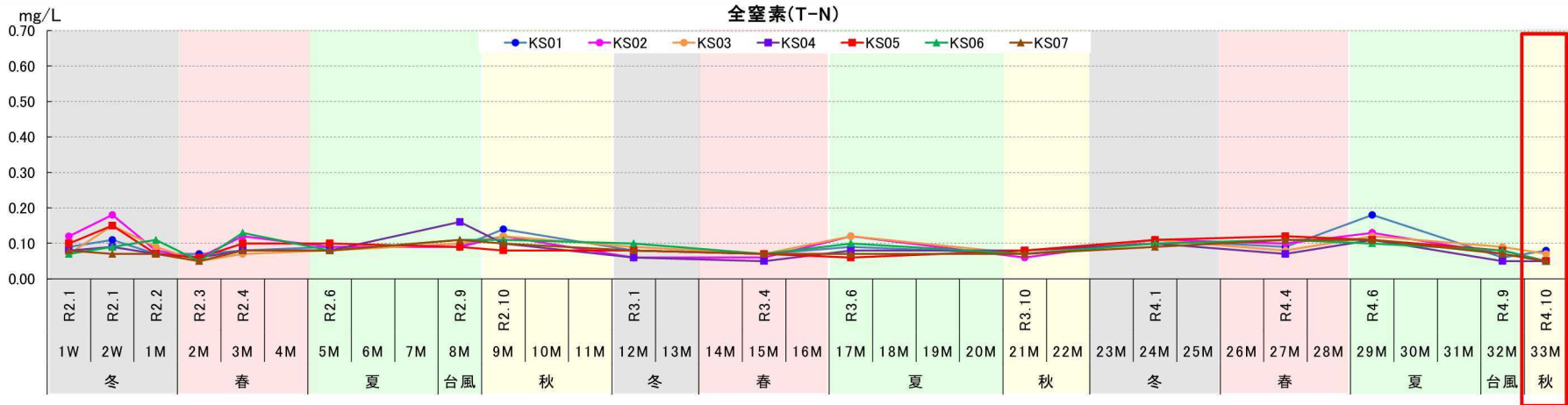


   : 今回報告



# モニタリング結果 (全窒素・全リン)

・秋季(33か月後)モニタリングの各地点の全窒素は0.05~0.09mg/L、全リンは0.004~0.005mg/Lであった。



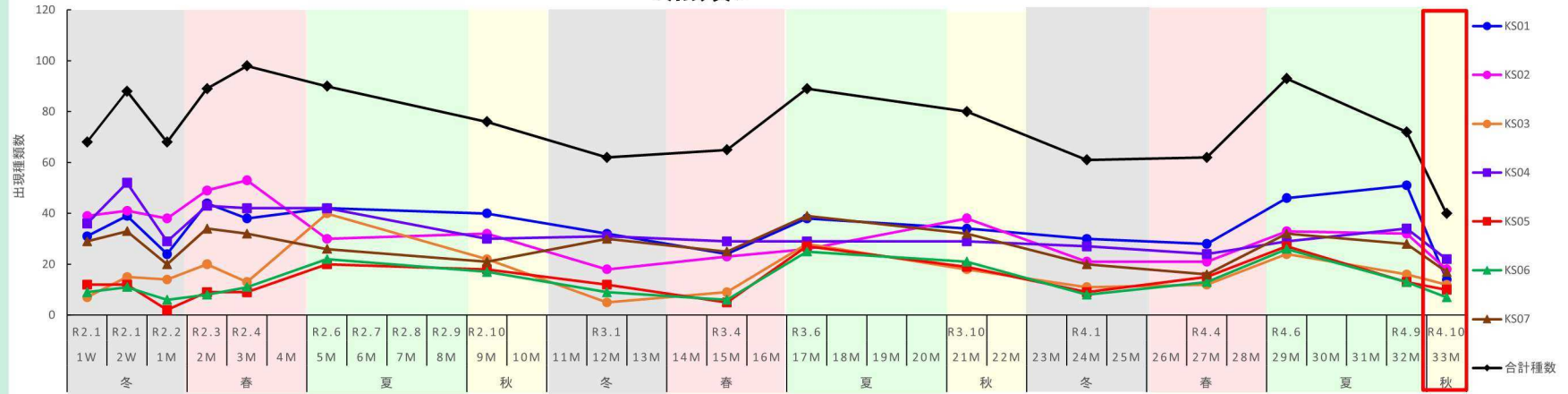
□ : 今回報告



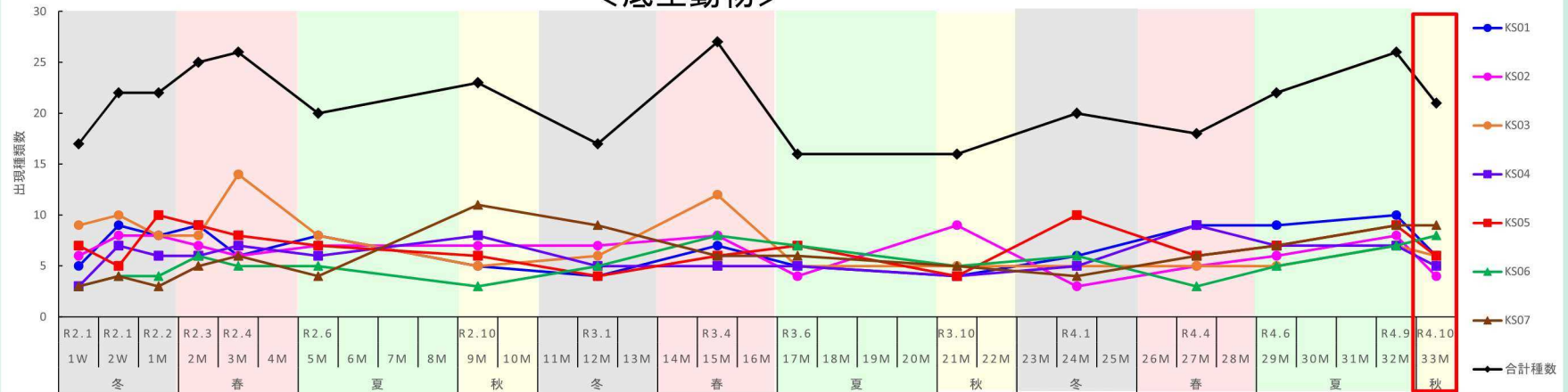
## モニタリング結果（藻場生態系）

・秋季(33か月後)モニタリングの各地点の魚類の出現種類数は7～22種類であり、合計種類数は40種類であった。  
底生動物の出現種類数は4～9種類であり、合計種類数は21種類であった。

＜魚類＞



＜底生動物＞



□ : 今回報告



オビシノビハゼ



キンランカノコ

